

# 全苗連だより

Vol. 68 (3月号)

令和2年3月10日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

## 第58回農林水産祭天皇杯受賞の北海道苗組 谷口洋一郎・希子夫妻が 天皇皇后両陛下に拝謁し、業績をご説明いたしました

令和元年度（第58回）農林水産祭において北海道苗組の谷口洋一郎・希子夫妻が天皇杯を受賞されましたことは、全苗連だより11月号にて既報したところですが、令和2年1月24日(金)午後4時から、皇居宮殿・北溜において、天皇皇后両陛下に拝謁し、受賞の御礼を言上しました。

天皇陛下から、励ましのお言葉を賜り、拝謁後、夫妻は業績成果等について、展示物や写真パネルにより、天皇皇后両陛下にご説明いたしました。



(写真；宮内庁提供)

【拝謁】受賞者を代表してお礼を言上する 林産部門受賞 谷口 洋一郎 氏

※受賞は谷口洋一郎氏、希子氏の夫婦連名

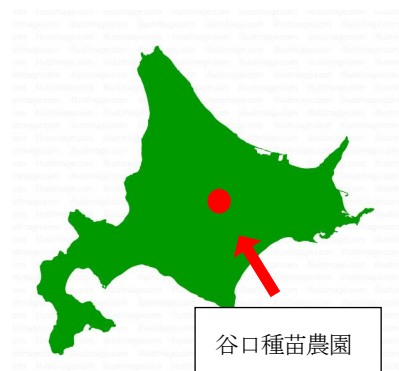
### <受賞者の略歴>

- 昭和 29 年(1954 年) 創業者である谷口好一氏が標茶町開運で苗木の生産を開始。
- 昭和 36 年(1961 年) 全苗連苗畑品評会で優良賞を受賞。
- 昭和 37 年(1962 年) 標茶町字ルルランで苗木の生産を開始。
- 昭和 51 年(1971 年) 有限会社谷口山林種苗農園を設立。
- 昭和 52 年(1972 年) 標茶町字ルルランに共同利用低温貯蔵庫を建設。
- 昭和 60 年(1985 年) 谷口洋一郎氏が有限会社谷口山林種苗農園の代表者になる。
- 昭和 62 年(1987 年) 弟子屈町字屈斜路にて苗木の生産を開始。
- 平成 12 年(2000 年) 全苗連苗畑品評会で林野庁長官賞を受賞。
- 平成 18 年(2006 年) 標茶町開運にビニールハウスを建設し、さし木生産を開始。
- 平成 27 年(2015 年) 北海道知事表彰による産業貢献賞を受賞。
- 平成 28 年(2016 年) 谷口洋一郎氏が会長となり、中川悟氏が代表者となる。
- 平成 30 年(2018 年) 標茶町字ルルランにクリーンラーチ採種園を造成。

### <経営の概要>

会社は、北海道東部に位置する標茶(しべちや)町にあり、積雪は比較的少ないが、夏冬の寒暖差が大きく、冬は土壤凍結が発生しやすいなど道内でも有数の気象条件が厳しい地域である。

苗畑面積は、約30ha で、樹種別にはカラマツ40万本、トドマツは15万本、アカエゾマツ、クリーンラーチなどが合わせて15万本、全体で70万本となっている。「しっかりと裸苗を生産し、自分たちを支えてくれている地元(釧路根室地域)の需要者に迷惑をかけないようにする」というのが、谷口さんの絶対的な信念である。



### <技術的特徴>

苗畑は標茶町と弟子屈(てしかが)町(標茶町の北隣)の2か所に苗畑を有しており、積雪量の多い弟子屈町には大苗を、積雪量の少ない標茶町には播種床を多めに設定し、樹種・季節に合わせて苗を移動・床替えすることで、苗が気象害になるべくあわない工夫をしている。

また、40年前から日誌を作成し、日々の天候や作業内容、人工数などを記録している。この記録を翌月の作業計画や資材等の購入計画を立てるのに活用している。特に、近年の激しい気候の変化にも過去の取り組みなどを参考にして対策を講ずるようにしており、効果を上げている。



順調に生育しているカラマツの苗床



さらに、苗木を山に植えた後の活着率を上げるためには根が大切であり、多くの発根を促すため、床替えを通常1回のところ2回に増やしている。

### <女性の活躍>

谷口種苗農園で就労している50人余りのうち6割が女性であり、職場の中心となっている。奥様の希子さんが取締役となり、女性が働きやすい環境を整えている。その例として経験が必要な選苗作業を女性に任せており、作業現場には女性専用のトイレが設置されている。また、トラクタによる運搬作業も女性が行っており、外部の人間は少し驚かされる。希子さんが長年築いてきたコミュニケーション力が人の輪をつくり、就労者確保の大きな力となっている。



女性従業員による選苗作業

苗畑には昔から多くの女性が雇用されているが、昔に比べ自発的に仕事をしており、まさに女性が活躍する現場の模範である。

### <採種園造成>

谷口さんは、平成30年からクリーンラーチ(グイマツとカラマツを交配した品種の中で、特に炭素固定能力等に優れた品種)の採種園造成に着手した。間伐特措法の特定増殖事業者の認定も既に受けており、森林総合研究所林木育種センター北海道支場の支援を受け、標茶町にある苗畑に造成した。なぜ、採種園を作ったのですか?と問われた谷口さんは「夢なんです。地元の種を地元で育てて、地元で植える。これが私の夢なんです。」

まだまだ時間と労力がかかるが、手入れは行き届いており成長も良いことから、近い将来、球果が鈴なりでなっていて欲しいものである。



クリーンラーチの採種園

### <むすびに>

北海道山林種苗協同組合の組合員における天皇杯受賞は、昭和48年の佐々木昌太郎氏(元理事:佐々木産業(株))、平成9年の竹内泰道氏(元理事長:有竹内山林緑化農園)に次ぎ、3回目であるが、夫婦揃っては初の快挙であり、本道の厳しい気象条件下での苗木生産における技術向上への取り組みや時代を見通した優れた活動実績が高く評価されたと思われる。

例えば、昨年8月22日に行われた農林水産祭天皇杯等三賞候補者の選賞審査に関する現地調査の日、谷口夫妻が手塩にかけた標茶町苗畑の上空には、あちらこちらにタンチョウが飛来してきており、まさにこの慶事を伝えに來たかのような様子だった。

この度の天皇杯の拝受に当たって、国や道など関係機関の皆様方に、絶大なご指導、ご支援を賜りましたことに、この紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。

(文責:北海道山林種苗協同組合)



## 新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症対策本部等からの連絡事項につきましては、連絡があり次第速やかに全苗連HPのインフォメーションにUPしていますので、そちらをご確認願います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により種苗の生産等に支障が出る等があった場合は、速やかに全苗連までご連絡をお願いします。

### 全苗連・苗組の行事予定

～R2.3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会の実施 ②コンテナ苗生産に新規参入後、間もない事業者を対象とした研修会の実施 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導の実施 ④造林者等を対象としたコンテナ苗の植栽に関する研修会の実施 ⑤その他研修会の実施等 ⑥種苗の需給情報等を共有する取組  
実施者;全苗連、都道府県苗組

3月18日 林業薬剤協会理事会(学会館)

3月19日 全苗連会長・副会長会議(全苗連事務室)

4月以降 全苗連生産者の集い実行委員会(福島市) \*調整中

4月中下旬 全国山林苗畑品評会第3次審査(全苗連事務室) \*調整中

4月下旬 全苗連監査(全苗連事務室) \*調整中

5月12日 令和2年度全苗連理事会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)

5月22日 令和2年度全苗連通常総会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)

9月3日 第6回全苗連生産者の集い(福島県「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」

～4日